

## ■はじめての校外模試。どう受ける？

期末考査が終了しました。ほっとしている人も多いと思いますが、週末は各学年ともにベネッセの校外模試が行われます。1年生にとっては初めての全国規模の模擬試験ということになります。定期テストと校外模試では何が違うのか、その意味と重要性をしっかりと理解した上で試験に臨みましょう。7月の校外模試の大きなテーマは以下の3点であるといえます。



### ①1学期の時点での自分の学習到達状況（特に苦手分野）を知る

新学期の授業が始まって3か月、教科によっては取り組みに課題を残すものもあると思います。校外模試を受験することで、「この時期にはこのくらいできてほしい」レベルとの差を認識することができます。過去の全国の受験生の到達状況を踏まえて作成された問題により、客観的な自分の学力を測ることができます。

### ②全国における自分の立ち位置を知る

皆さんが大学入試で勝負する相手は全国の受験生です。隣の友達ではありません。1年生には、初めて見るような「偏差値」が出る人もいられるかもしれませんが、あくまで「大学進学を目指す生徒」のなかでの立ち位置です。中学校のときの偏差値とは意味が全く違います。そして、同じ業者の模試を続けて受けることで自分の学力の推移が見て取れます。過去の自分と勝負するつもりで成績推移を見てほしいと思います。

### ③夏休みに向けての学習テーマを見つける

夏休みまで20日ほど。「夏休みにどんな学習をしたか」が2学期以降の成績を大きく左右します。そしてその答えは今回の模試の結果のなかにある、といっても過言ではありません。今回の模試で反省が残る教科・分野を夏休みの最優先テーマとして設定することで、効率よい学習計画が作れるはず。

そして、皆さんに強く訴えたいのは「模試はあくまで模試（であって本番ではない）」ということ。前女という同じ環境のもとで切磋琢磨しあう仲間たちとの優劣を競うものではありません。期待ほどの結果がでなくてもよくよする必要はありません。「夏休みに向けて自分のやるべきことが見つかった」と前向きにとらえて次の模試に向けての準備をすることです。今回の模試の前後で皆さんがやるべきミッションは

- ・ デジタルサービスに志望校や目標得点を入力しよう
- ・ 受験後すぐに自己採点を行い復習しよう
- ・ 今回の模試で浮き彫りになった弱点を踏まえて、夏休みの学習計画を立てよう

です。しっかり頑張りましょう。

## ■「懺悔ノート」作成のススメ

テストが終わったら、すぐに復習し、間違えた原因や対策をしっかりと整理することが大切。そのためにも、通称「懺悔ノート」を教科ごとに作ることを勧めます。ノート1冊に、間違えた問題（コピーなどして貼付け）と自分の解答、間違えた原因や考え方のポイント、関連する参考書の問題などをまとめ、もう一度丁寧に解き直してみましょ。ノートは右側のページは空けておく（後でもう1度解いたり、新たに気付いたポイントが

(懺悔ノートの例:数学)

間違えた問題を書いておく、コピーを貼り付けるのもアリ	関連する参考書のページや類題についての情報
自分の解答(どこまでできてどこが違ったのか分かるように)	
間違えた原因や問題のポイントについてまとめる	
模範解答をつくるつもりで正解をもう一度作成してみる	余白(後でもう一度解き直したり新しい情報が書き込めるように)

書き込めるように) などして、贅沢に使いましょう(時折、後で書き込みができないくらいギュウギュウに詰まったノートを見かけますが、「もったいないかな」と思うくらい余白をたくさん残しておくのが大切です)。3年間試験が終わるたびに自分のミスを記録していけば、受験が始まる頃には、自分の弱点が詰まった最高のテキスト(そして、最高のお守り)になっているはず。

## ■先輩に聞く、「苦手科目どう克服した？」

**Nさん [東京農工大学工学部生命工学科3年(当時)]** ※今年教育実習生です！

最も苦手としていたのは数学でした。基礎的なことはできても応用分野はほとんどできなかったという印象が今でもあります。センター(共通テスト)レベルは1問1答で解き、より苦手分野の問題を抽出して解いていました。二次対策は受験する大学の出題傾向を念入りに分析し、頻出分野の中でも基礎分野を固め、「満点をとるといよりは部分点を取りに行く」ような勉強をしていました。1・2年の頃は部活をやっている、自分の中では数学は嫌いな教科No1でもあったので、毎日1時間だけやると決めて取り組んでいました。

また、点数が伸び悩んだのは生物です。11月あたりのセンター模試で60点以下だったような(もっと悪かったような・・・)、とにかく酷かったことを覚えています。間違えた問題に関して、どのように解けばよかったのか、と間違えた原因(知識不足、凡ミス、理解不足など)を1枚の紙に問題文とともに記し、まとめ直すことをしました。まとめ直すことで、自分がどうして間違えたのかをより理解しやすくなっていたので、自分には合った勉強法であったなと思っています。

どれだけ周りから言われようと、自分の道を決めるのは自分です。未来を左右する選択権は自分にあります。自分がどう生きていきたいのかをよく考え、自分自身と向き合うことが大事だと思います。これは私が3年前の自分に言ってやりたいことです。何をしたらよいのか分からない人は、積極的に先生、友人を頼ってみたり、自己分析をやってみるといいです。まずは行動に移してみましょう！結果は後から必ずついてきます。

## ■卒業生からのメッセージ6

**金沢大学 学校教育学類1年 Iさん**

前女生の皆さんこんにちは！私が感じた大学の魅力をご紹介します。

1年生は主に、教養科目の講義を受けています。それがとっても面白いです！ある講義では感動してしびれてちょびっと涙が出ました…。他にも、高校で習ったことが社会の仕組みと意外なところでつながっていることを学びました。高校での勉強が報われている気がします！



大学生活は自由なので、様々な企画があちこちで用意されています。先日は、留学生向けの日本語の講義にボランティアで参加しました。オーストラリアではuglyな髪型が流行っているそうです…。他にも、人口減少地域の活性化に取り組んだり、SOGIについて考えている研究室が主催のピザパーティに参加したりしました。よく知らない分野に比較的簡単に触れられるのも、大学の魅力の一つだと思います。

図書館や本屋さんにいると、自分の関心がどこに向いているか自覚しやすくなります。進路について考えたいけど、自分の興味・関心なんてわからないよ～！という方には、図書館に気になった言葉をメモすることをオススメします。

大学に来て感じたのは、自分の軸を持つことの大切さです。大学は本当に自由なので、通う目的がないと何かを選択するときの基準が分からなくて不安になります。友達や先生とたくさんお話して、自分のやりたいことを見つけてみてくださいね。